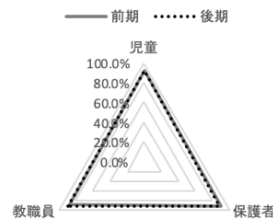


# 令和元年度★学校評価（後期）の結果を振り返って

★学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。（回答率約91％）  
★グラフのポイントは「よくできている」「できている」を合わせたポイントです。

学校評価の課題を踏まえ、今後も本校学校教育のより良い改善を目指していきます。  
ご家庭でも、よりよい子育ての指針にしていいただければと思います。

## 2. 人の話を聞く



＜表の見方＞  
左から  
①前期の値  
②後期の値  
③前期との比較  
④前年度（後期）との比較  
です。

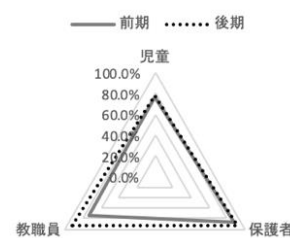
	前期	後期	前期比	前年比
児童	91.8%	92.2%	0.4%	1.0%
保護者	91.2%	89.3%	-1.9%	-1.9%
教職員	86.7%	89.7%	3.0%	
地域	74.2%	69.4%	-4.7%	

◎前期に引き続き、9割以上の児童が「話をよく聞いている」と自己評価しています。

◎「自分の思いや考えを伝える」ことについても、児童、保護者、教職員ともに前期よりも良い結果となりました。特に、児童は昨年度と比べると16.5%増えています。

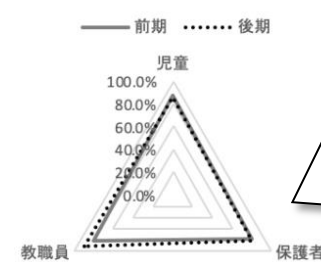
→★授業の中で話し合い活動を大切に、自分の考えを説明する活動を積み重ねてきたことで、自分の思いや考えを伝えることに自信が持てるようになってきたと考えられます。それと同時に、友だちの意見をしっかり聞く態度も育ててきているように思います。今後も、授業での話し合い活動をより充実したものにしていきたいと思っています。

## 3. 思いや考えを伝える



	前期	後期	前期比	前年比
児童	76.5%	77.7%	1.2%	16.5%
保護者	87.9%	91.9%	4.0%	
教職員	73.3%	92.9%	19.5%	

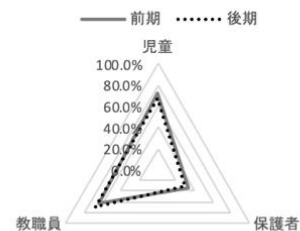
## 8. 人権意識



◎8割以上の児童が人を大切にした言葉づかいや行動をしていると評価しています。  
◎12月の人権朝会や1月の人権集会の取組を通して全校で「言葉」について考えるなど、学校教育全体で子どもたちの豊かな人権意識を育む取組を実践しています。  
△地域の方の客観的な評価から、子どもたちの言葉づかいや行動に課題が残ります。  
→★自分から進んであいさつをすることや場面に応じた正しい言葉づかいができるように今後も地域・家庭と連携して子どもたちの人権感覚を育みたいと思います。

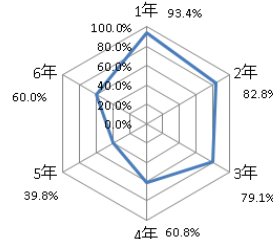
	前期	後期	前期比	前年比
児童	87.2%	85.0%	-2.2%	-1.5%
保護者	79.3%	80.6%	1.3%	
教職員	80.0%	90.0%	10.0%	
地域	43.3%	23.5%	-19.8%	

## 6. 読書



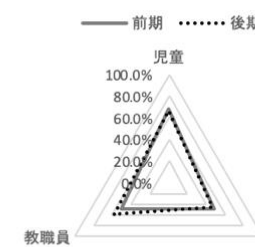
	前期	後期	前期比	前年比
児童	72.3%	67.7%	-4.7%	0.3%
保護者	33.3%	29.4%	-3.9%	
教職員	63.3%	67.9%	4.5%	

進んで読書している。



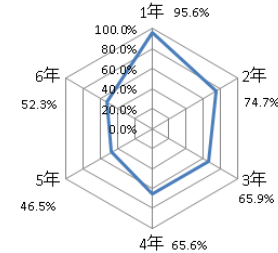
△「進んで読書している。」と答えた児童は全校の7割弱ほどで、昨年度の結果ともあまり変わりません。学年別にみると、低学年に意欲的に読書をしている児童が多いようです。  
△保護者の結果から、家庭で子どもたちが読書をする環境や時間を確保することが難しい実情がうかがえます。  
→★図書室や久我の杜図書館の積極的な利用を促し、常に手元にお気に入りの本や読みたい本がある状況を作っていきたいと思っています。  
★学校図書館司書と連携をはかり、国語の学習の並行読書の取組等を充実させ、本と出会う機会や触れ合う時間を増やしていきたいと思っています。

## 5. 家庭学習



	前期	後期	前期比	前年比
児童	67.3%	65.4%	-1.8%	0.4%
保護者	47.7%	46.4%	-1.3%	
教職員	50.0%	57.1%	7.1%	

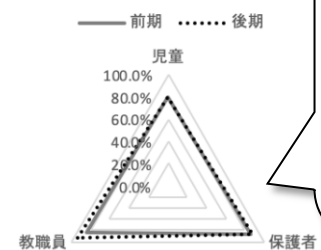
毎日15分間×学年ほどの家庭学習をしている



△高学年になるほど、「15分間×学年」の家庭学習の目標時間は達成できていない現状があります。  
△習い事などもあり、放課後にじっくり学習に向かう時間が確保できていないケースもあるようです。  
◎保護者が音読を聞いたり宿題を見たりしてくださることが子どもの励みになっています。

→★学校の宿題だけでなく、自分で+αの学習に取り組む習慣を身に付けていく必要があります。低学年のうちから自分で課題を設定して学習する「自主学習」にも取り組んでいます。内容がより充実したものになるように学校でも指導していきたいと思っています。  
特に高学年では中学に向けて、自分で計画→学習→ふりかえり→改善のサイクルを進めていける力をつけたいと思います。

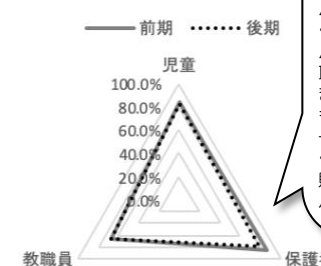
## 12. あいさつ



◎児童の自己評価は昨年度よりわずかによくなりました。登校時には高学年の児童があいさつをする姿が増えたように感じます。  
◎休日にボランティアで清掃活動をしてくださっている方や見守り隊の方にお礼をいう子どもたちの姿も見られます。  
→★あいさつは人間関係を円滑にする生活スキルです。笑顔で元気いっぱいあいさつできる子どもたちが増えるように、大人がよい手本を見せていきたいと思っています。

	前期	後期	前期比	前年比
児童	79.3%	79.2%	-0.1%	3.3%
保護者	86.1%	87.6%	1.5%	
教職員	83.3%	93.3%	10.0%	
地域	25.8%	47.2%	21.4%	

## 13. 生活習慣



◎多くの児童が規則正しい生活習慣を意識できています。  
△児童・保護者の評価は、前期と比べると低くなっています。  
△寝る時刻が遅いために十分な睡眠時間が取れず、学校で不調を訴える児童もいます。また、朝起きることができず、遅刻する児童もいます。  
→★ゲームやケータイなどが寝る時刻を遅くする一因となっていることもあります。規則正しい生活をおくれるよう、家庭でもルールを決めていただければと思います。

	前期	後期	前期比	前年比
児童	83.8%	82.3%	-1.5%	5.4%
保護者	86.0%	79.7%	-6.3%	
教職員	66.7%	66.7%	0.0%	